



介護あんしん 相談員だより

第38号 平成31年1月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

明けましておめでとうございます。
去年は、介護あんしん相談員の受け入れに
ご理解いただきまして、ありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

介護あんしん相談員は橋渡しをする事を目的としています！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても
直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。

介護あんしん相談員は、利用者様やそのご家族が施設職員に
直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見て気づ
いたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(平成30年10月・11月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：リハビリ室で習字や色ぬりを一生懸命取り組まれている方がいました。

施設：身体的な訓練だけでなく、認知力の低下を予防する目的でリハビリをして
います。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



リハビリというと、つい身体を動かす運動をイメージしてしまうかもしれませんが。
筋力は衰えていても、昔からされていた書道や編み物、色ぬりや計算などはできる方が
多くいらっしゃるということで、こちらの施設では、利用者様の好まれる活動を季節など
も考えながら実施されているそうです。

この方以外も、おしぼりやエプロンをたたんだり、楽しくリハビリに取り組まれてい
らっしゃったようです。意欲を持って取り組めることがあるのは良いことですね。

なお、施設には実習生も来られていたようで、利用者さまの隣でずっと励ましの声をか
けられていたそうです。このような実習生がこれからの介護業界で力を発揮してもらえる
のかと思うと楽しみです。

相談員：Sさまは寝たきりの状態の方で、訪問時に入眠されている事が多かったよ
うですが、今回は声かけすると発語もありました。部屋にはCDで歌謡曲
が流れていました。ご家族からの希望があったのでしょうか。

施設：居室のベッド上で過ごすことが多いため、少しでも刺激になればと思い音
楽をかけています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの利用者様は、経管栄養を行うことで栄養摂取をされている関係で居室のベッド
上で過ごされる時間が長いため、時間の感覚がなく昼夜逆転の傾向もあったそうです。

そのため、施設では昼夜の区別をつけることを目的に日中はご本人様のお好きな歌手の
CDをかけたり、テレビをつけたりしているそうです。

一日の生活リズムを利用者様の好む刺激により整えることは、利用者様にとっても受け
入れやすく良い工夫だと思います。

好きな音楽には心を豊かにする効果があるそうです。利用者様が少しでも多くの楽しみ
を持ちながら、ゆっくりお過ごしいただけると良いですね。



～利用者様の声より～

利用者：ここに入って良かった。一人暮らしの時には不安だったけど、今は安心し
ている。職員さんのおかげ。

施設：ありがとうございます。利用者の皆さんが安心して過ごしてもらえるよう
に、今後も頑張っていきます。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの利用者様は長年奥様を介護しながらの生活だったそうですが、お一人になられ
病気への不安もあり入所されたそうで、「施設に居られることが嬉しい」と相談員に話さ
れたそうです。

また、こちらの施設では、スタッフの方がまず担当の利用者様に挨拶をしてから勤務に
入られているそうです。スタッフの方を頼りにされている利用者様は、朝から担当者の顔
が見えないと不安になられるそうで、利用者様が少しでも安心できるように、自然と挨拶
をしてから勤務に入るようになられたそうです。

利用者様は本当に安心ですね。自ら利用者様に顔を見せてから仕事に入るような優し
さのあるスタッフの方にとっては、利用者様は家族のように親しい存在になられているの
ではないでしょうか。今後ともよろしくお願いいたします。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧する
ことができます。ご利用ください。